

# 京都府農業会議

## 6ブロックで開催

京都府農業会議（草木慶治会長）では、府内6ブロックごとに、この1月から2月にかけて、市町村農業振興部課長と農業委員会事務局長を対象に合同会議を開催している。

農業委員会の新体制移行に対応して、2016年度から毎月、ブロックごとに農業委員会事務局との連絡会議を開催してきたが、農業委員や農地利用最適化推進委員が、農地利用の最適化推進業務に取り組みやすくするには、市町村農政との連

## 行政と農委の合同会議

人と組織を  
サポート

同会議としたもの。合同会議では、農業会議から「市町村農地利用戦略会議」の設置を提案している。農業委員、最

# 両委員の業務円滑化へ



最適化の推進にむけた連携について市町村農業振興部局と農業委員会が一堂に会して話し合う

適化推進委員と関係機関急がれる遊休農地をリストアップしたり、中心的な担い手のいる地域では担い手との意見交換など話し合いを重視しながら、地域と一緒に活動を広げていくことが想定されている。

### 今後も協議継続

「戦略会議」では、農地利用や担い手をめぐって地域の課題を出し合い、▽当面の具体的な活動▽その数値目標▽重点取組地域の設定——などを話し合い、地域事情に沿った「最適化指針」を積み上げ、めざすべき農業の姿を共有する。さらに「取り組めること」から活動を開始する。これまでの利用状況調査の結果から、周辺の営農に影響するなど対策が

会議では「まず、農業委員会と市町村がめざすべき方向を共有することから」「できること、できないことをはっきりさせ、できることから考えなければ」など、どのブロックでもさまざま意見が飛び交う。

マンパワーの問題など課題は山積だが、具体的な手法について、引き続き協議を続けていく。

## 「戦略会議」設置を提案